



プロ野球ペナントレース 応援ランキング

2016年度シーズン最終

集計：非公認団体 日本プロ野球応援協会

当協会が公式ツールとして認定・採用している一球速報のスマホアプリ「メガホン! (※)」にて、試合観戦時にチームや選手を応援するためのコメント投稿ボタンが1回タップされた（押された）回数を「応援ポイント」として換算・集計。そのポイントに基づいたペナントレース各試合の応援合戦の勝敗順位表と、各チームの選手がどれだけ応援されたかが分かるランキングです。

セ・リーグ ペナント応援ランキング

集計期間：2016.3.25～10.10

| チーム | 試合数 | 勝 | 負 | 分 | 差 |
|----------------|-----|-----|-----|---|------|
| 1 横浜DeNAベイスターズ | 146 | 109 | 36 | 1 | 0 |
| 2 読売ジャイアンツ | 146 | 104 | 41 | 1 | 5 |
| 3 広島東洋カープ | 143 | 96 | 46 | 1 | 11.5 |
| 4 阪神タイガース | 143 | 48 | 92 | 3 | 58.5 |
| 5 東京ヤクルトスワローズ | 143 | 34 | 106 | 3 | 72.5 |
| 6 中日ドラゴンズ | 143 | 31 | 110 | 2 | 76 |

パ・リーグ ペナント応援ランキング

集計期間：2016.3.25～10.10

| チーム | 試合数 | 勝 | 負 | 分 | 差 |
|------------------|-----|-----|-----|---|------|
| 1 福岡ソフトバンクホークス | 143 | 122 | 20 | 1 | 0 |
| 2 北海道日本ハムファイターズ | 142 | 84 | 57 | 1 | 37.5 |
| 3 千葉ロッテマリーンズ | 144 | 84 | 59 | 1 | 38.5 |
| 4 オリックス・バファローズ | 143 | 66 | 76 | 1 | 56 |
| 5 東北楽天ゴールデンイーグルス | 143 | 37 | 102 | 4 | 83.5 |
| 6 埼玉西武ライオンズ | 143 | 35 | 105 | 3 | 86 |

セ・リーグ選手 応援ランキング

集計期間：2016.3.25～10.10

| | 選手名 | 球団 | 応援ポイント |
|------------|-------|----|---------|
| MOP | 坂本勇人 | 巨人 | 167,306 |
| 2 | 村田修一 | 巨人 | 121,062 |
| 3 | 野村祐輔 | 広島 | 120,087 |
| 4 | ギャレット | 巨人 | 119,187 |
| 5 | 丸 佳浩 | 広島 | 115,907 |
| 6 | 長野久義 | 巨人 | 113,686 |
| 7 | 菅野智之 | 巨人 | 112,578 |
| 8 | 菊池涼介 | 広島 | 112,129 |
| 9 | 新井貴浩 | 広島 | 107,405 |
| 10 | マイコラス | 巨人 | 107,147 |

パ・リーグ選手 応援ランキング

集計期間：2016.3.25～10.10

| | 選手名 | 球団 | 応援ポイント |
|------------|------|--------|---------|
| MOP | 松田宣浩 | ソフトバンク | 155,553 |
| 2 | 中村 晃 | ソフトバンク | 141,574 |
| 3 | 内川聖一 | ソフトバンク | 132,249 |
| 4 | 武田翔太 | ソフトバンク | 130,745 |
| 5 | 今宮健太 | ソフトバンク | 121,324 |
| 6 | 東浜 巨 | ソフトバンク | 106,143 |
| 7 | 大谷翔平 | 日本ハム | 105,547 |
| 8 | 和田毅 | ソフトバンク | 103,205 |
| 9 | 柳田悠岐 | ソフトバンク | 101,981 |
| 10 | 千賀滉大 | ソフトバンク | 95,042 |

※「メガホン!」とは、試合観戦中にユーザー同士がコメントを投稿することでチームや選手を応援できる、応援バトル型の一球速報アプリです。<http://mega-hon.com/>



プロ野球ペナントレース応援ランキング 今シーズンの解説 (2016年度)

文：非公認団体 日本プロ野球応援協会

<応援ペナントレース> なんとDeNAがシーズン制覇！

2016年度の応援ポイントペナントレース、パリーグはソフトバンクが他を圧倒。細かくは選手部門で触れるとして、一番の驚きはセリーグの戦いをDeNAが制したことだ。トータルのポイント、選手個別のポイントでは巨人・広島が上回っているが、1試合ごとの応援合戦では横浜っ子たちが接戦を制してきた結果だろう。この応援熱はスタジアムの盛り上がりにもつながり、12球団最後のCS進出につながったとも言えるはずだ。また、球団別で最も応援ポイントの少なかったのは西武。かつての強さを取り戻せば、応援熱も上がるに違いない。来季以降の巻き返しに期待だ。

<セリーグ> 坂本2冠！巨人と広島、最後まで五分の戦いに

ここからは個人ランキングを見てみよう。セリーグはベストテンに巨人の選手が6人、広島が4人という結果に。見事、MOP (Most Ouen Player = 最も応援されたプレイヤー) に輝いたのは自身初の首位打者に輝いた巨人・坂本。応援トップとの2冠となった。坂本は例年に比べてゴシップが実に少なく、野球の良い話題ばかりが聞こえてきた。何がきっかけかは分からないが野球にとことん打ち込み覚醒した坂本に、巨人ファンは来年以降の期待も込めて応援を続けたことだろう。2位には最多勝のタイトルを掴んだ広島・野村。これまでの月間ランキングでは急浮上する選手もいたが、やはり年間上位にはコンスタントに活躍した選手が並んでいる。応援するファンとしても納得のランキングと言えるだろう。初のCS進出を果たしたDeNAは、2冠王の筒香が16位とチームトップに輝いた。

<パリーグ> 強すぎる！2位ソフトバンクの一人勝ち

パリーグの年間ランキングは、予想通りソフトバンクが他を圧倒。MOPはパリーグで一番熱い男、松田が獲得した。そもそも振り返れば、開幕前から圧倒的な優勝候補と目されたソフトバンクはスタートダッシュに成功。6月にしてパリーグは終了した…かと思っていた方も少なくないだろう。だが、チームが失速し始め、北の大地から猛追を受けた夏場以降、一気にパリーグ熱が沸騰。同時にソフトバンクファンの応援ポイントも桁違いに急上昇。そんな中、唯一、日本ハムからランクインした大谷翔平の凄さが際立っている。実は大谷を除けば16位までソフトバンク勢が独占。17位に中田翔、18位にロッテ・角中が続いている。ちなみに、お寿司パフォーマンスで話題となり、本塁打王にも輝き、大逆転優勝の立役者となったレアードは21位。意外と伸び悩んだ。

2016年度・応援ベストナイン

投手部門トップ3はソフトバンク・武田、広島・野村、巨人・菅野。捕手は巨人・小林が堂々の選出。内野手は、巨人・坂本、ソフトバンクの松田・今宮、巨人・村田の4人。外野手はソフトバンクの中村・内川、巨人のギャレットという結果になった。ちなみに、投手部門では大谷が惜しくも5位。捕手の2位は小林と僅差で巨人・阿部。内野手の5、6番手はは広島の忍者・菊池と兄貴・新井。外野手は4番手に広島の丸、5番手は巨人・長野となった。